様式第５号（第５条関係）

温泉の成分並びに禁忌症，飲用上の注意及び適応症

成　　分

1　源泉名

2　源泉所在地

3　泉　質

4　泉　温　源泉　　℃（気温　　℃）　使用位置　　℃

5　密度	6　pH値	7　電気伝導率	8　蒸発残留物
g/cm³(20℃/4℃)		S/m(25℃)	g/kg(　℃)

9　温泉１kg中の成分，分量及び組成

陽　イ　オ　ン	ミリグラム	ミリバル	ミリバル%	陰　イ　オ　ン	ミリグラム	ミリバル	ミリバル%
カリウムイオン　K^+ ナトリウムイオン　Na^+ マグネシウムイオン　Mg^{2+} カルシウムイオン　Ca^{2+} 総鉄イオン　$Fe^{2+}+Fe^{3+}$ マンガン(Ⅱ)イオン　Mn^{2+} アルミニウムイオン　Al^{3+}				塩化物イオン　Cl^- 硫酸イオン　SO_4^{2-} 炭酸水素イオン　HCO_3^- 炭酸イオン　CO_3^{2-} チオ硫酸イオン　$S_2O_3^{2-}$			
陽　イ　オ　ン　計				陰　イ　オ　ン　計			

遊離成分

非解離成分	ミリグラム	ミリモル	溶存ガス成分	ミリグラム	ミリモル
メタほう酸　HBO_2 メタけい酸　H_2SiO_3			遊離二酸化炭素　CO_2 （遊離炭酸） 遊離硫化水素　H_2S		
非解離成分計			溶存ガス成分計		

溶存物質（ガス性のものを除く）　　g　　成分総計　　g

微量成分として　総ひ素　　mg

その他の微量成分

銅イオン	ふっ化物イオン	鉛イオン	総水銀	カドミウム
mg	mg	mg	mg	mg

ラドン（Ｒｎ）含有量（検査した場合）　　Bq/Kg　（　　Ci/kg：　　マッヘ単位）

10　温泉分析年月日（分析書発行年月日）　　年　　月　　日

11　登録分析機関の名称及び登録番号

禁忌症，飲用上の注意及び適応症

1　禁忌症（含有成分別禁忌症）

2　飲用の方法及び注意

(1) 飲泉療養に際しては，専門的知識を有する医師の指導を受けること。また，服薬治療中の人は，主治医の意見を聴くこと。

(2) 15歳以下の人については，原則的には飲用を避けること。ただし，専門的知識を有する医師の指導を受ける飲泉については例外とすること。

(3) 飲泉は決められた場所で，源泉を直接引いた新鮮な温泉を飲用すること。

(4) 温泉飲用の１回の量は一般に100～150mL 程度とし，その１日の総量はおよそ200～500mLまでとすること。

(5) 飲泉には，自身専用又は使い捨てのコップなど衛生的なものを用いること。

(6) 飲泉は一般に食事の30分程度前に行うことが望ましいこと。

(7) 飲泉場から飲用目的で温泉水を持ち帰らないこと。

(8) 飲用する際には，誤嚥に注意すること。

（注）　誤嚥とは，うがいや焦って飲むことなどにより，肺や気管に水分を吸い込んでしまうことをいう。なお，嚥下障害を発症している人は飲泉を行わないこと。

3　適応症（泉質別適応症）

4　禁忌症，適応症決定年月日　　年　　月　　日　　盛　岡　市